

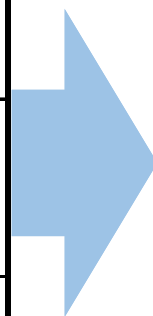
令和元年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 (スタジオアルテ就労継続支援B型) 作成日時 (令和元年 9月26日)

代表	施設長	本部
印		

H30年度 改善への取り組み	
今年度の施設目標	・本人、家族のニーズをしっかりと聞き取った個別支援計画を作成する。職員が心身ともに元気に働ける環境作りを行う。

項目	事業所内評価を踏まえた上での問題点	事業所内評価を踏まえた上での改善点
環境・体制整備	・生活介護と就労継続支援B型の支援内容を知らない。 ・自閉症と知的の方が同じ環境	・松本生活介護と大岡分室の住み分け。 ・法理解と制度を知る。
業務改善	・支援計画のPDCAサイクルの構築 ・P=計画 ・Do=実行 ・C=評価 ・A=改善	・日々のモニタリング（業務日誌に記入）チェックシートの利用。毎月のスタッフミーティングでのする合わせ。
適切な支援の提供	・成人支援の基盤がない ・工賃が低い	・利用者さんを大人として対応（子供扱いは無意識にしているのでスタッフ間でお互いを後から注意できるようになる） ・純利益を考える
関係機関との連携	・今まで、関係機関と連携が必要とわかっていなかった	・計画相談との連携を利用者さん順番に行う ・必要な時は担当者会議を開く
本人（家族）への説明責任等	・本人に合わせた書面作成及び説明が足りない	・本人のわかる言葉を使用、時には本人の話し言葉を使うなど、振り返りの時に思い出せるようにする。署名欄を大きく自分で署名できるようにする。フリガナをふる。
非常時等の対応	・緊急時対応マニュアル等の策定・避難訓練の実施 ヒヤリハットの共有・虐待防止のための取り組みが甘い	・緊急時対応・防犯・感染などのマニュアルの周知徹底が不十分なので、10月中に書類を再整備し、ご家族に配布



分析検討してみたの事業所の強み	分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・特性の理解、構造化が可能である環境 ・特性理解についての研修を行なっている ・法人内にて工賃につながる仕事がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に合わせた場所を作る。 ・法律、制度を学ぶ機会を作る。 ・全職員が個別支援計画を元に支援できるツール作成を行なう。（業務日誌・担当制・課題シートの利用、記入） ・計画相談との連携、担当者会議を開く。 ・本人がわかる言葉での書類作成を行う。（フリガナ、表現方法等） ・緊急時対応のマニュアル作り ・家族への緊急時対応の作成。

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・特性に合わせた場所作りを行ない、職員を固定化し専門性を持たせる。 ・生活介護、就労継続支援B型の法律、制度を学ぶ資料作り、ミーティングを行う。 ・職員に個別支援計画を読み込んで理解してもらう。 ・計画相談との連携、担当者会議を行なう。（サービス管理責任者の役割をしっかりと行なう） ・職員と部門長とのコミュニケーションを増やし、いつでも話せる環境をつくる

自己評価を行っての事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> ・本当にゼロからのスタートだと思う。しかし、利用者さんはすでに利用されているので、スピーディーな改善を行なっていくことが必要。 ・今後、利用を希望される方には、法制度の説明、施設の特色、方針、サービス内容を説明し、理解していただく。 ・常に整理整頓を行ない、物の場所を明確にする。

来年度の施設目標	成人支援として、本人とご家族のニーズからしっかりと聞き取り、個別支援計画に反映していく。 職員が心身ともに元気でいられる環境を整える。
----------	--